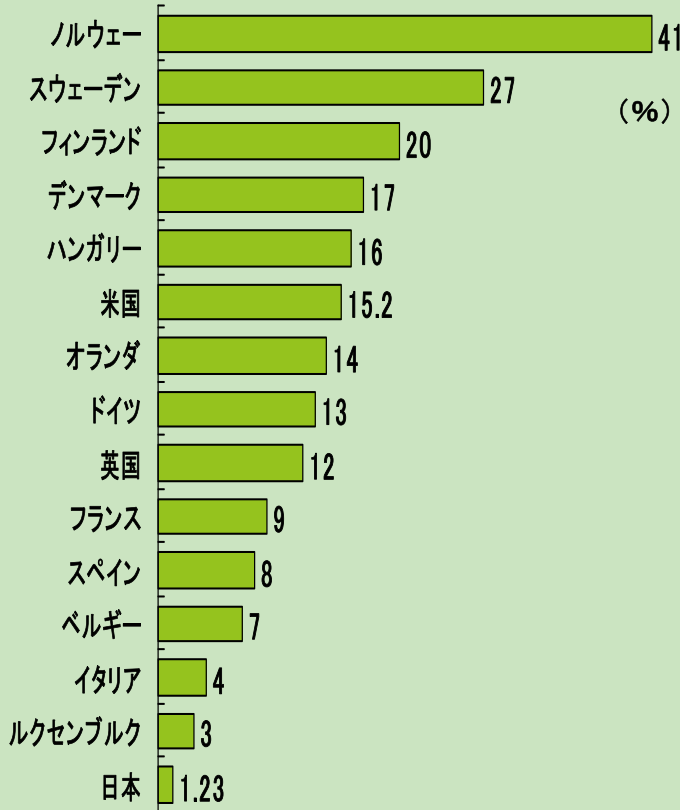


## 企業などの役員会の女性比率(国際比較)

<企業の役員会における女性の比率はノルウェーで41%、欧州平均は11%。日本は1.23%と欧州諸国に比較して大きく遅れている>



資料: 欧州諸国はMcKinsey&Company Paris office, "Women Matter3" (2009)より、2008年の各国とも最大トップ50社の数値。米国はフォーチュン500社を対象としたCatalyst調査。日本は2009年7月末の全上場企業を対象とした東洋経済新報社調査。

2001~2004年のフォーチュン500掲載企業について、役員会における女性比率の高い順に第1~第4四分位グループに分け、各社の業績の平均値を分析したところ、

- 自己資本利益率(ROE)
- 売上高利益率
- 投下資本利益率

について、

役員会の女性比率が最も高い  
第1四分位グループの値

∨

役員会の女性比率が最も低い  
第4四分位グループの値

となっている

⇒女性役員比率の高い企業は、高い業績を上げている

(カタリスト, The Bottom Line, 2007)

## 第3次男女共同参画基本計画(平成22年12月閣議決定)における新たな目標例

項目	現状	目標(期限)
<b>民間企業</b>		
民間企業の課長相当職以上に占める女性の割合	6.5% (平成21年)	10%程度 (平成27年)
ポジティブ・アクション取組企業数の割合	30.2% (平成21年)	40%超 (平成26年)
<b>教育・研究</b>		
初等中等教育機関の管理職(教頭以上)に占める女性の割合	14.7% (平成21年)	30% (平成32年)
大学の教授等(講師以上)に占める女性の割合	16.7% (平成21年)	30% (平成32年)